

### ☆ 新春、スタートダッシュができるような冬休みを過ごしましょう！

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のために、さまざまな面で制約を強いられ、学校生活を送ってきました。「去年だったら、こんなふうに取り組めていたのに、今年は…」と思う場面がしばしばあったにちがいありません。しかし、世界中へと眼を転じれば、私たちはこれまでどれだけ恵まれた環境で学校生活を過ごすことができていたのか…ということ、思い知らされているようにも感じます。

授業日数をカウントすると、実質的には、卒業式の日まで、あと50日ばかりとなっています。年が明けた先の春からは、皇學館高等学校で学ぶ自分自身の姿がイメージできているでしょうか？ その直前（2月下旬）には九州修学旅行も予定されています。この冬休みにしっかり「充電」したうえで、学校再開後、本当の意味で「楽しい思い出」のワン・シーンを一つ、一つ、作り足していくように心がけましょう！



【旧・校友会本部役員、新・校友会本部役員、人権学習①・②(左上→右下)】

### □ 人権学習～マララ・ユスフザイさんの国連スピーチに学ぶ～

12月14日（月）第5～6時間目に全学年がそれぞれのテーマを設定して人権学習を行いました。3年生は、ノーベル平和賞を受賞されたマララさん（パキスタン出身）による国連でのスピーチ（動画・スピーチ原稿の本文（英文・和文））と、ある中学生が書いた人権作文を教材として学習しました。以下に感想文からの抜粋を紹介します。

- ・「マララさんは夢を変えず、声を上げ続けたのは素敵だなと思いました。私たちとあまり変わらないくらいの年齢なのに、すべての子どもたちに教育を与える権利のために行動したのはすごいと思いました。」
- ・「彼女は貧困に苦しんでいる人たちを救おうとしています。そんな慈悲深い心が世界に届いたと思っています。教育など本来、国籍など関係なく行っていくべきものだと思います。」
- ・「私たちは平和な世界の現実に向けて協力していくために、異文化理解を深めるとともに、お互いを同じ立場で生きていく者同士として見るのが重要なのだと思う。そうすることの積み重ねによって平和な世界の基盤をつくり、みんなで現実に向けて次のステップに進んでいきたい。」
- ・「日本人も外国に行く世の中では、外国人とではなく、『同じ人間』として協力し合っていくことが大切だと思いました。」
- ・「外国人を特別扱いしないで、その人が困っていることがあれば、気遣ったり、協力してあげたりすることが大切だとわかった。」
- ・「タリバンのテロリストたちはマララさんに対して自分達の考えを強制しようとしてきました。こうした事態をなくすためには、相手の立場に立って考えることが必要です。そのような考えを持たせるために必要なのが子どもの頃からの教育なのではないでしょうか？教育により、人々は正しい考えを持つことができ、それが差別や偏見という考え方の解消につながるのではないのでしょうか？」

——「何よりも『教育』（本とペン）こそが大切な『武器』だ」というマララさんの主張を、一人ひとりがしっかりと受け止めることができているように感じました。

### □ 校友会選挙

12月10日（木）7時間目に校友会選挙を行いました。セミナーホールにて行われた立会演説会での、立候補者とその推薦者によるスピーチを聴き、教室に戻ってから投票を行いました。その結果、総務委員長をはじめ、計5名の新しい校友会本部役員が決定しました。これからの新メンバーのリーダーシップに期待したいと思います。

### □ S講座生対象課外授業～12月24日（木）・25日（金）～

12月24日（木）、25日（金）にS講座生対象とする課外授業を行います。時間割については、プリントにてすでにお知らせしてあります。英語・数学・国語の教科担当の先生方の指示に従い、両日ともしっかりと取り組みましょう！

### □ 修学旅行に向けた事前指導～新年の授業は1月12日（火）からスタート～

12月22日（火）7時間目の学級指導にて修学旅行の実施要項と誓約書とを配付させて頂きました。「誓約書」の提出は、令和3年1月14日（木）締め切りとなります。1/12日（火）①全校朝礼・頭髪服装指導・学級指導、②国語、③学級指導、清掃/11:55～終礼